

教師用指導書

デジタル教科書の紹介

道徳授業の充実に向けて、先生方をサポートするさまざまな資料をそろえています。

教師用指導書セット内容

- 解説・展開編
 - ・ 研究授業にも対応できるように、授業のポイント等を詳しく解説しています。
 - ・ 「学びの道しるべ」にそった標準的な展開例と、バリエーション豊かな別案を掲載しています。
- 朱書編
 - ・ 授業に必要な情報にしほりこみ、実践の要点をわかりやすく示しています。
- ワークシート編 (CD-ROM付)
 - ・ 評価にも活用できる全教材分のワークシートです。
 - ・ PDF・Word・1太郎の各データを収録。適宜変更してお使いいただけます。
- 音声CD
 - ・ 全教材にプロによる朗読音声を用意しています。
- デジタル資料集DVD-ROM
 - ・ 動画や挿絵・写真等の画像など、学習をより充実させるデータ類を多数収録しています。

朱書編

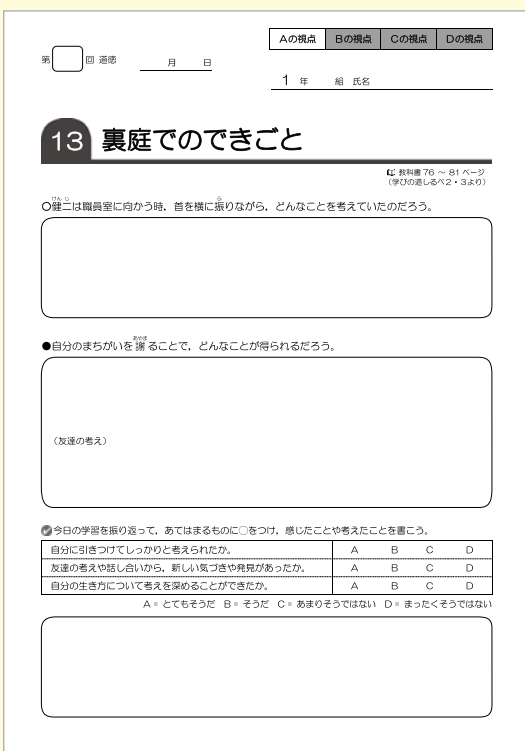


授業に必要な情報を、教科書紙面とも対応させながらコンパクトに示しています。

解説・展開編

1教材4ページ構成で詳しく解説しています。標準的な展開例と、工夫を加えた別案を用意し、多様な指導方法を提案しています。

ワークシート編



授業のねらいや展開に応じて、効果的なタイミングでお使いいただけます。継続して蓄積することで、ポートフォリオ評価に活用することができます。

13 裏庭でのできごと

内容項目 A 自主、自律、自由と責任
 主題 誠実な生き方
 ねらい 自分の失敗を正しく認め、責任ある行動をとろうとする判断力を育てる。

主眼設定の理由
 ねらいとする道徳的価値について
 日常のどんな小さな行為においても、自ら考え判断し、自分の自由意志に基づいて決定し、その結果については失敗も含めて責任をもたなければならない。それには、深く考えずに多数派に同調した責任を他人に押し付けたりすることなく、自らの見解を高め、自分を律していく必要がある。
 ● 誠実に行動することの意義を確かめ、人間としての誇りをもって生きていくために、自分が何を大事にして判断し行動すればよいか、考えさせることをねらいとしている。

生徒の実態
 生徒たちは思春期を迎え、プライドや周囲の目を気にすることから自らの失敗を素直に認めなくなったり、他人の言動に左右されてしまったりすることも少なくない。
 一方で、そんな自分を含めたままだと自分で決断し、もやもやとした気持ちのまま過ごすことも多くなる。自分の言動を客観的に見つめるとともに、生じた結果に対して自らの良心と向き合い、対処しようとする態度を育てていくことが求められる。
 生徒たちはこれまでに「自分で決める」において、主に自由と責任について考えている。

評価に資する内容を充実させました。授業のどの場面でも何を対象に見取るのか、見取りたい生徒のよさの例を示しています。

教材の構成

単元	単元目標	学習目標	学習活動	評価
13	「裏庭でのできごと」を読み、誠実に行動することの意義について話し合う。	「裏庭でのできごと」を読み、誠実に行動することの意義について話し合う。	「裏庭でのできごと」を読み、誠実に行動することの意義について話し合う。	「裏庭でのできごと」を読み、誠実に行動することの意義について話し合う。

【主体的・対話的で深い学び】のための工夫
 ● 導入の工夫
 導入で教材と関連する日常的な場面を生徒に具体的に想起させることで、生徒は登場人物の心情を自分と結びつけて考えることができる。
 ● 話し合いの工夫
 「裏庭でのできごと」では、誰で話し合いを行う。生徒の意見を少数に絞らなければならない。ただし、多様な意見を出し合うことは、ある一定の方向性で話し合うことが求められる。
 ● 教材活用の際の注意点・配慮事項
 導入で教材と関連する日常的な場面を生徒に想起させる際には、これまでの失敗をさせたりしないようにする。

他教材・他の教育活動・日常生活との関係
 将来の生き方を考える場面や学級生活に結びつけることができる。
参考情報
 あやまちを正しく言えない人間の弱さ、この弱さを取り上げた教材には、3年「6 文庫最後の二行」[26 足袋の季節]がある。

展開例

展開例	生徒の学習活動と主な展開・予想される生徒の反応	指導上の留意点
1	失敗したときと正義について話し合う。 ○失敗したときの正義に悩んだら、どんな時だろう。 ・家で飲むジュースをまわって飲んだ時。 ・学校で、指図や提案などの忘れ物をした時。 ○人の意見に流されてしまったことはあるだろうか。[26]	○学校の内外、個人や集団を問わず考えさせる。意見がまとまらない生徒には、「いつ」「誰に対して?」などと個別に問いかけ、体験を振り返らせる。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。 ○日常生活の場面を挙げる際、場面にならないよう、深掘りしない。
2	「裏庭でのできごと」を読み、誠実に行動することの意義について話し合う。 ○「ウチの一部の雑草が枯れたとき、誰の気がかりか、なぜだろう。」「誰に話せばいい?」など、先生に話さずして話し合う。 ・先生に話さずして話し合い、そうすると先生は本意を言いたくない、言ったら大層がうそをついたと先に知られることになる。 ○「誰かを助けたら、何を頼むの?」「誰かを助けたら、何を頼むの?」など、先生に話さずして話し合う。 ・もうこれ以上、言い訳の余地がなくなると、先生は本意を言いたくない、言ったら大層がうそをついたと先に知られることになる。 ○先生は本意を言いたくない、言ったら大層がうそをついたと先に知られることになる。	○話し合い、登場人物それぞれの行動と、そこに目立った人物と関係性に関する点など、全体の場で議論する。 ○話し合いの理由と、言いたくない理由をそれぞれについて考えさせる。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。 ○誰かの発言の理由、「誰かを助けたら、何を頼むの?」など、先生に話さずして話し合う。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。
3	自分で判断し行動するときと大それたと思うことが、考えをまとめる。 ○失敗したり、周りに流されたりしたとき、正義に行動できなくなる時、どんなときだろう。 ・「誰かを助けたら、何を頼むの?」など、先生に話さずして話し合う。 ・自分自身の責任は、自分自身でとる。	○導入であげた事例を思い出させる。 ○誰かを助けたら、何を頼むの? などを振り返らせる。 ○「誰かを助けたら、何を頼むの?」など、先生に話さずして話し合う。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。

展開例・展開のポイント

展開例	展開のポイント
1	○話し合いの理由と、言いたくない理由をそれぞれについて考えさせる。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。 ○誰かの発言の理由、「誰かを助けたら、何を頼むの?」など、先生に話さずして話し合う。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。
2	○話し合いの理由と、言いたくない理由をそれぞれについて考えさせる。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。 ○誰かの発言の理由、「誰かを助けたら、何を頼むの?」など、先生に話さずして話し合う。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。
3	○話し合いの理由と、言いたくない理由をそれぞれについて考えさせる。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。 ○誰かの発言の理由、「誰かを助けたら、何を頼むの?」など、先生に話さずして話し合う。 ○個人から発言させ、意見を尊重する。

デジタル資料集

※内容・仕様等は変更になる可能性があります。

動画

授業の導入で活用できる動画資料です。



▲3年 3 歩きスマホをどうするか

学習のテーマへの興味・関心を高めます。

動画リスト

- | | | |
|---|---|--|
| <p>1年</p> <p>8 「いじり」? 「いじめ」?</p> <p>11 最強の敵 最大の友</p> <p>22 歴史を変えた決断</p> <p>26 全ての人に安心, 安全な水</p> <p>29 「庶民の笑い」を絶やさぬ</p> <p>30 オーロラの向こうに</p> | <p>2年</p> <p>4 まだ食べられるのに</p> <p>5 短所を武器とせよ</p> <p>6 たったひとつのたからもの</p> <p>8 国境なき医師団・貫戸朋子</p> <p>11 清掃はやさしさ</p> | <p>3年</p> <p>3 歩きスマホをどうするか</p> <p>7 あなたは顔で差別をしますか</p> <p>14 サルも人も愛した写真家</p> <p>23 あふれる愛</p> <p>30 もう一つの時間</p> |
|---|---|--|

● 学びの道しるべ・小さな道しるべ

教科書の「学びの道しるべ」を表示することができます。また、問いを補助する「小さな道しるべ(めくり紙付き)」を適宜入力しています。

1 サッカー部の練習が終わったあと、健二の気が重かったのは、なぜだろう。

2 健二は練習が終わったあと、健二の気が重かったのは、なぜだろう。

3 自分のまじがいを練習して、健二の気が重かったのは、なぜだろう。

1 サッカー部の練習が終わったあと、健二の気が重かったのは、なぜだろう。

2 健二は練習が終わったあと、健二の気が重かったのは、なぜだろう。

3 自分のまじがいを練習して、健二の気が重かったのは、なぜだろう。

必要に応じてスモールステップでねらいにせまります。

▲1年 13 裏庭のできごと

● 挿絵・写真

教科書に掲載されている挿絵・写真を拡大して表示したり、掲示用にプリントしたりすることができます。



▲3年 7 あなたは顔で差別をしますか

● 整理しよう

教材の全体構造をわかりやすく整理し、一覧できる形にまとめています。

生徒全員が教材内容を把握して話し合いに参加しやすくなる土台をつくれます。

行動したこと

- 音を立てて自転車のブレーキをかけた
- 「さ、青になった。渡ろうと。」
- 不自然にゆくりと横断歩道を渡った

知っていること

- 目の不自由な人が街を歩くには、点字ブロックだけでは不十分
- 目の不自由な人は、信号の色を車の流れて判断するしかない

交差点で目の不自由な人を見かけた僕

思っていること

- 赤信号を渡らないかドキドキした
- 「青になったら一緒に渡りましょう」と言えなかった
- ささやかな親切すらできなかった
- 水口ささ

▲1年 4 不自然な独り言

● やってみよう

道徳的行為に関する体験的な学習の流れを、スライドショー形式でわかりやすく示しています。

表現活動の前に、流れや発言例を確認できます。

初めに、お年寄り役の人に声をかけます。

お年寄りにはできるだけ近づいて、大きめの声で言おう。

どうかしましたか。

通行人役

▼1年 4 不自然な独り言



▲3年 26 足袋の季節

● 教科書紙面

教科書紙面のPDFデータを、そのままの紙面と、「ふりがな付き」紙面と、二種類収録しています。

● 朗読

全教材分の朗読音声を収録しています。

● ワークシート

全教材分のワークシートを収録しています。

● 年間指導計画、全体計画別葉作成資料

弊社ウェブページでも掲載する予定です。

学習者用デジタル教科書のご紹介

● 使いやすいビューア

「拡大」「ページ送り戻り」「ペン・消しゴム」の基本機能がすぐに使えます。



● 充実の学習者支援機能

さまざまな生徒に対応できる機能を備えています。

- ・自動音声読み上げ
- ・総ルビ(ふりがな)
- ・分かち書き
- ・リフロー(たて書き・よこ書き変更/書体変更/文字サイズ変更/行間変更/色変更)

● 切り替えもらくらく

紙面と学習者支援画面の表示を、タブの選択で簡単に切り替えられます。